

統合開発クラウドでWindowsOSを扱う場合の基本的な考え方

2021年1月13日

NTTデータ システム技術本部 方式技術部 統合開発クラウド担当

目次

1. 統合開発クラウドでWindowsOSを扱う場合の基本的な考え方
2. UAFライセンスの対象者
3. UAFライセンスの対象・対象外一覧
4. 購入対象ライセンス
 1. WindowsクライアントOS
 2. 開発BXO
 3. WindowsサーバOS
 4. NCIT版統合開発クラウド
 5. PP
5. UAFライセンスの入手法
6. 追加ライセンスの購入
7. ライセンス購入が必要な主なケース
 1. 持ち帰り開発でアクセスする場合（国内ニアショア）
 2. 海外グループ会社からアクセスする場合

統合開発クラウドでWindowsOSを扱う場合の基本的な考え方

1. 統合開発クラウドでは、UAFライセンスの利用が可能です
2. 統合開発クラウドで、UAFライセンスを考慮する対象は以下の通りです
 1. アクセス中継サーバ
※UDSアクセス中継サービスについては、提供元のITマネジメント室に確認すること
 2. 統合開発クラウドのOpenStackテナントに構築するWindowsマシン
 3. 開発BXO
3. UAFライセンスプロダクトキー入手とインストールは、NTTデータ社員が実施してください。
4. プロダクトキーは**購買管理システム「マイクロソフト製品の使用、調達について」**に記載のページから入手してください。（社員限り）
5. UAFライセンスは利用者の制限があるため、追加でライセンスの購入が必要な場合があります。その際はプロジェクトが販社から購入すること。

UAFライセンスの対象者

● UAFライセンスの対象者：追加購入不要

1. 国内NTTデータグループ(本体含)の社員および協働者
 1. 国内のNTTデータグループ会社のうち、NTTデータの出資比率が50%を超えている会社(※1)
 2. NTTデータがUAFへの参加を承認したグループ会社

● UAFライセンスの対象外：追加ライセンスの購入が必要

1. 協働者ではないお客様
2. 協働者ではない外部の会社(ハード、ソフトベンダなど)
3. 協働者ではないNTTデータの出資比率が50%を超えていない会社 ※1
4. 協働者ではない海外グループ会社の社員

※1 対象の会社がUAFライセンスの対象/対象外かどうかは購買部にお問い合わせください

UAFライセンスの対象・対象外一覧

接続元拠点・対象者により、UAFライセンスの利用可・不可が決まります。
UAFライセンス対象外の人(黄色部)がアクセスする場合は、次ページ以降の各パターン別に購入が必要です。

項番	接続元拠点（所属）	対象者	国内資本比率50% 超関連会社	接続元							備考
				統合開発クラウド			NCIT版統合開発クラウド				
				OpenStack Windowsクライアント	開発BXO	OpenStack Windwosサーバ	OpenStack Windowsクライアント	開発BXO	OpenStack Windwosサーバ	アクセス 中継サーバ	
1	NTTD拠点/NTTD G拠点		－	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	注1
2	NTTD G外拠点	NTTD社員	－	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	パターンA
3		NTTD_G会社社員	－	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	
4		国内他会社社員		パターン1	パターン2	パターン3	ルール上アクセスできない				
5		海外他会社社員	対象外	パターン1	パターン2	パターン3	ルール上アクセスできない				
6	NCIT拠点	NTTD社員	－	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	注2
7		NTTD_G会社社員	－	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	
8		国内他会社社員	対象外	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	UAF	
9	海外関連会社リスト	NTTD社員	－	UAF	UAF	UAF	ルール上アクセスできない				
10	対象拠点（NCIT以外）	NTTD_G会社社員	－	UAF	UAF	UAF	ルール上アクセスできない				
11		国内他会社社員	対象外	UAF	UAF	UAF	ルール上アクセスできない				
12	海外関連会社リスト 対象外拠点	NTTD社員	－	UAF	UAF	UAF	ルール上アクセスできない				パターンB
13		NTTD_G会社社員	－	UAF	UAF	UAF	ルール上アクセスできない				
14		国内他会社社員	対象外	パターン1	パターン2	パターン3	ルール上アクセスできない				
15		海外他会社社員	対象外	パターン1	パターン2	パターン3	ルール上アクセスできない				

注1:NTTD拠点/NTTDG拠点からのアクセスは、すべてUAFライセンスの対象者の場合に限る。

注2:海外関連会社からのアクセスは、すべてUAFライセンスの対象者の場合に限る。

【パターン1】購入対象ライセンス:WindowsクライアントOS

- プロジェクトでVDAを購入すること。
- デバイス単位、ユーザ単位の2種類ある。
- 使い方により有利不利があるのでプロジェクトにて販社に確認すること。
- VDAは最短36ヶ月からであり、契約応答月が4月のため、24か月+残月から契約となる。詳細は販社に確認すること。
- デバイス単位またはユーザ単位でのライセンスになるため、その範囲内で利用可能。詳細は販社に確認すること。

【VDA種類】

1. VDA E3 Per Device （デバイス単位）
2. VDA E3 Per User USL （ユーザ単位）

製品ファミリ	MS製品番号	MS製品名	購入単位&時期 (日本語)	推定小売価格 (税別)
VDA E3 Per Device	4ZF-00024	VDAE3PerDvc J MonthlySubs 1Month(Dvc) SLP D	月次	1,030
VDA E3 Per User USL	7F4-00006	VDAE3PerUsrUSL J MonthlySubs 1Month(Usr) SLP D	月次	1,300

推定小売価格は2018年3月時点のものです。
見積もりは販社に依頼してください。

【パターン2】購入対象ライセンス:開発BX0

- プロジェクトでVDAを購入すること。
- VDAは最短36ヶ月からの販売となる。
- 契約応答月が4月のため、24か月+残月から契約となる。詳細は販社に確認すること。
- 開発BX0はユーザ単位にVMが払いだされるため、基本的にデバイス単位で購入するほうが安価になる。ユーザ単位でのライセンスでの利用も可能。詳細は販社に確認すること。

【VDA種類】

1. VDA E3 Per Device （デバイス単位）

製品ファミリ	MS製品番号	MS製品名	購入単位 & 時期 (日本語)	推定小売価格 (税別)
VDA E3 Per Device	4ZF-00024	VDAE3PerDvc J MonthlySubs 1Month(Dvc) SLP D	月次	1,030

推定小売価格は2018年3月時点のものです。
見積もりは販社に依頼してください。

【パターン3】購入対象ライセンス:WindowsサーバOS・アクセス中継サーバ

- プロジェクトで、ベースCAL・RDSCALをセットで購入する。
- デバイス単位、ユーザ単位の2種類ある。
- 使い方により有利不利があるのでプロジェクトにて販社に確認すること。
- 保有していれば、デバイス単位または単位で複数のサーバにアクセスが可能になる。
 - アクセス中継サーバ、Windowsサーバの区別なし、
 - 別テナント、別ダッシュボードでも利用可能となる。

【CAL種類】

1. Windows Server CAL + Win Rmt Dsktp Svcs CAL (Dvc:デバイス単位)
2. Windows Server CAL + Win Rmt Dsktp Svcs CAL (Usr:ユーザ単位)

製品ファミリ	MS製品番号	MS製品名	購入単位 & 時期 (日本語)	推定小売価格 (税別)
Windows Server CAL	R18-05176	WinSvrCAL 2016 JPN MVL DvcCAL	個別	2900
Windows Server CAL	R18-05177	WinSvrCAL 2016 JPN MVL UsrCAL	個別	3700
Win Rmt Dsktp Svcs CAL	6VC-03277	WinRmtDsktpSrvcsCAL 2016 JPN MVL DvcCAL	個別	9800
Win Rmt Dsktp Svcs CAL	6VC-03278	WinRmtDsktpSrvcsCAL 2016 JPN MVL UsrCAL	個別	12700

推定小売価格は2018年3月時点のものです。
見積もりは販社に依頼してください。

【パターン4】購入対象ライセンス:NCIT版統合開発クラウド

- プロジェクトでMSDN for VisualStudioを購入する(ユーザ単位)
- 使用する製品により、購入するライセンスが異なるので販社に確認すること。

【MSDN for VisualStudio種類】

1. Visual Studio Enterprise Sub MSDN
2. Visual Studio Test Pro Sub MSDN
3. Visual Studio Pro Sub MSDN

製品ファミリ	MS製品番号	MS製品名	購入単位&時期 (日本語)	推定小売価格 (税別)
Visual Studio Enterprise Sub MSDN	MX3-00115	VSEntSubMSDN ALNG LicSAPk MVL	L+SA3年	1,016,100
Visual Studio Test Pro Sub MSDN	L5D-00161	VSTstProSubMSDN ALNG LicSAPk MVL	L+SA3年	292,500
Visual Studio Pro Sub MSDN	77D-00110	VSProSubMSDN ALNG LicSAPk MVL	L+SA3年	154,500

推定小売価格は2018年3月時点のものです。
見積もりは販社に依頼してください。

購入対象ライセンス:PP

各プロジェクトで、仮想化に対応したライセンスを調査し、購入すること。

UAFライセンスの入手法

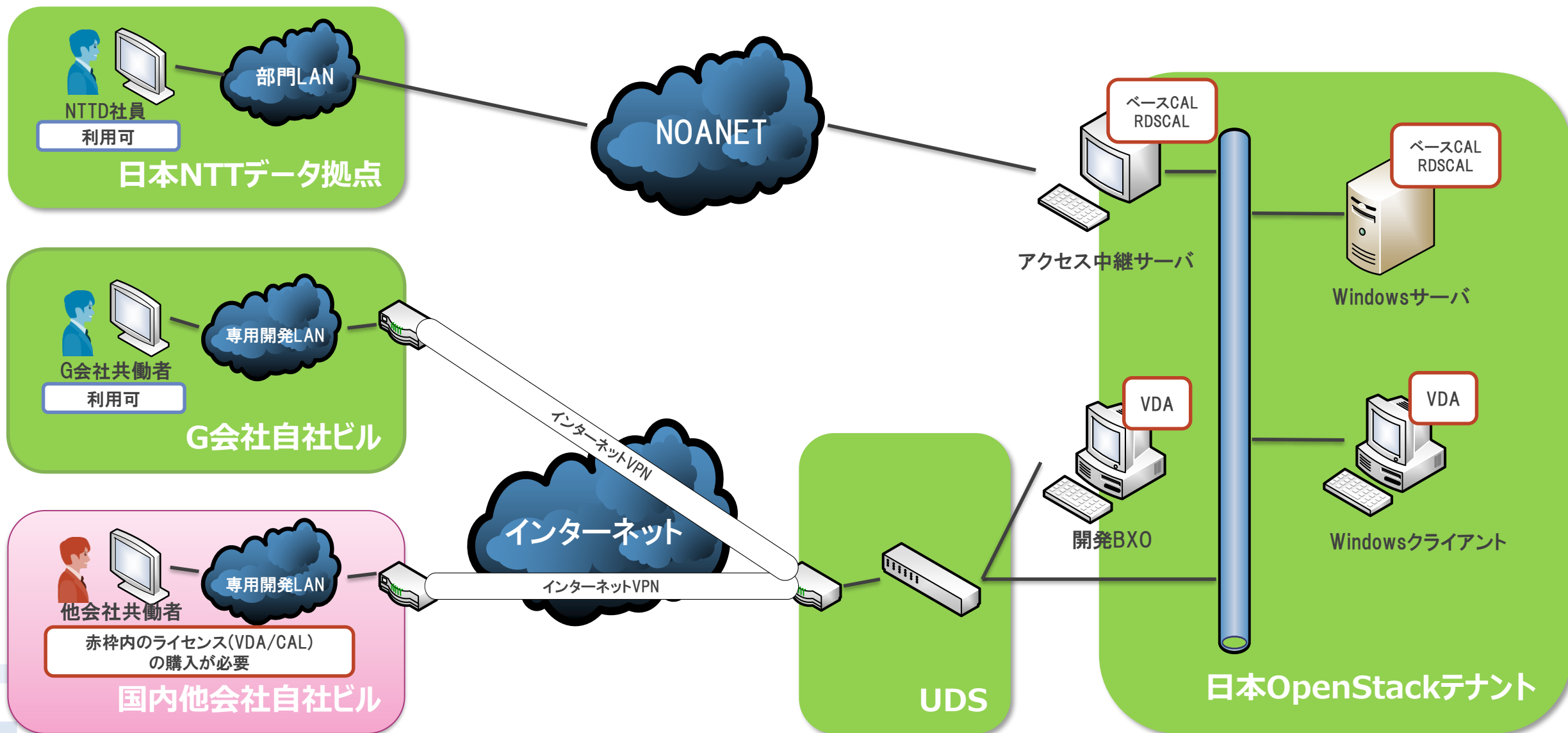
購買管理システム「マイクロソフト製品の使用、調達について」のページを参照し、プロダクトキーを入手する。(社員限り)

追加ライセンスの購入

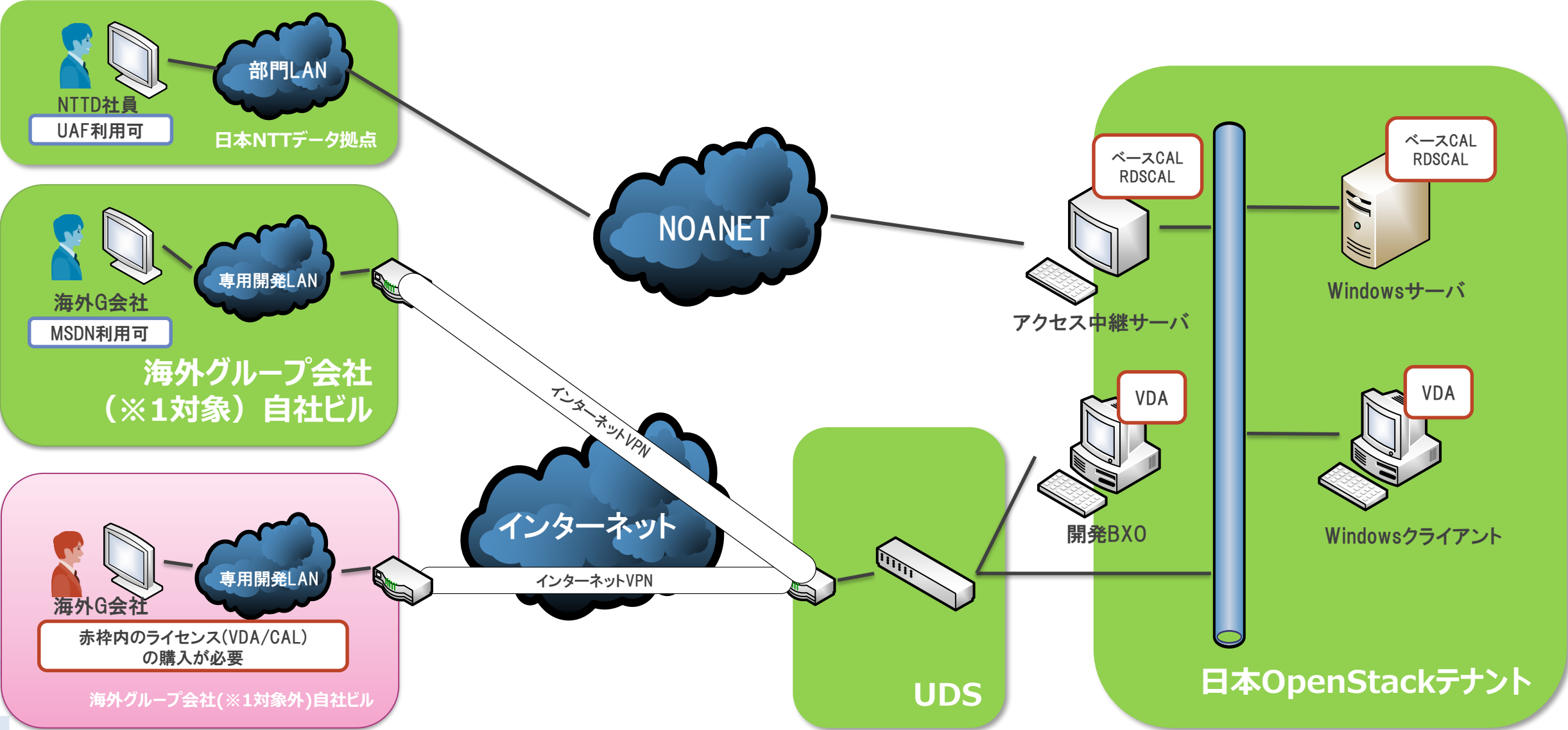
1. プロジェクトが必要なライセンスを購入してください。
2. プロジェクトは必要な利用者分のライセンスを保有しておいてください。
3. 実際の仮想マシンへのプロダクトキーの登録はUAFライセンスで構いません。
4. ライセンスの購入数は販社に見積もりを取ってください。
5. ライセンスに対するお問い合わせや見積もりは、大塚商会からお願いします。
6. 連絡先は購買管理システムの「マイクロソフト製品の使用、調達について」のページをご参照ください。

ライセンス購入が必要な主なケース

パターンA: 持ち帰り開発でアクセスする場合(国内ニアショア)



パターンB: 海外グループ会社からアクセスする場合



※1 海外資本比率50%超関連会社
利用の会社を対象になっているかについては購買部にお問い合わせください

改定日	改定内容	編集者
2018/4/1	初版リリース	方式技術部
2018/5/23	「UAFライセンスの対象者」に「対象の会社がUAFライセンスの対象/対象外かどうかは購買部にお問い合わせ」の記述を追加しました。	方式技術部
2020/12/22	「UAFライセンスを考慮する対象」に「UDSアクセス中継サービスについては、提供元のITマネジメント室に確認すること」の記述を追加しました。 「UAFライセンスの対象・対象外一覧」から「接続先/統合開発クラウド/アクセス中継サーバ」を削除しました。	生産技術部
2021/1/4	海外グループ会社社員は資本比率に関係なく包括契約の対象外になるため「UAFライセンスの対象者」から「2.海外グループ会社の社員（海外資本比率50%超関連会社※1）」の記述を削除しました。 また、「UAFライセンスの対象外」の「4.協働者ではない海外グループ会社の社員（海外資本比率50%超関連会社ではない※1）」を「4.協働者ではない海外グループ会社の社員」に修正しました。	生産技術部
2021/1/13	「UAFライセンスの対象・対象外一覧」2021/1/4の改定内容に合わせて修正しました。	生産技術部

